

2-3) 教育内容(シラバス)

分野(領域)	基礎助産学	科目名	助産学概論
単位(時間)	1単位 30時間	開講時期	前期～後期
講師名 (時間・所属)	平尾幸恵 (22時間・学院教員 助産師) 平尾幸恵・服部佳代子 (3時間 学院教員 助産師) 平尾幸恵・山崎康枝・服部佳代子 (5時間・学院教員 助産師)		
<p><科目設定理由> 助産の概念、助産の歴史を学び、助産師の専門性について考える。</p> <p><科目目標> 助産学の理論と助産師の役割・責務・業務と生命倫理について学び、助産師としてのアイデンティティを形成していく。</p> <p><授業内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 助産の概念 (平尾幸恵) 2. 助産師の役割と業務 (平尾幸恵) 3. 助産学を支える理論 (平尾幸恵) 4. 助産師と生命倫理 (平尾幸恵) 5. 助産師の歴史 (平尾幸恵) 6. 助産師教育の変遷 (平尾幸恵) 7. 助産師の倫理綱領 (平尾幸恵) 8. 助産師としてのアイデンティティの形成 (平尾幸恵・服部佳代子・山崎康枝) 9. 助産学概論演習 (平尾幸恵・服部佳代子) <p><講義の進め方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキストに沿って講義をする。 ・さまざまな体験を振り返りポートフォリオを作成する。 ・ポートフォリオを再構築し、自分の目指す助産師像を言語化する。 <p><受講要件> なし</p> <p><テキスト></p> <ol style="list-style-type: none"> ①我部山キヨ子編集：助産学講座1第5版、医学書院 ②社団法人日本助産師会編集：助産師の声明、公益社団法人日本助産師会 ③看護六法2021年版：新日本法規 ④進純朗・岡本喜代子：助産力、株式会社日本助産師会出版会 <p><参考文献> 講師作成資料など</p> <p><評価方法> 平尾幸恵 客観式テスト (2回) 論文体試験 (ポートフォリオ) 助産学演習 論文体試験</p>			

2-(3) 教育内容(シラバス)

分野(領域)	基礎助産学	科目名	人間関係論
単位(時間)	1単位 15時間	開講時期	前期～後期
講師名 (時間・所属)	池田知子 (15時間・西九州大学他 非常勤講師 臨床心理士)		
<p><科目設定理由> チームで協働していく中での信頼関係構築のため、人間関係について学ぶ。</p> <p><科目目標> 自己理解・他者理解するとともに、コミュニケーション及びカウンセリング技術を習得する。</p> <p><授業内容> 1. 自己理解・他者理解 2. コミュニケーション 3. カウンセリング</p> <p><講義の進め方> グループワークやロールプレイを通して体験に基づいて理解を深める。</p> <p><受講要件> なし</p> <p><テキスト> ①我部山キヨ子編集：助産学講座1第5版、医学書院</p> <p><参考文献> 講師作成資料など</p> <p><評価方法> 池田知子 論文体試験</p>			

2-(3)教育内容(シラバス)

分野(領域)	基礎助産学	科目名	母子の健康科学 I
単位(時間)	1単位 30時間	開講時期	前期～後期
講師名 (時間・所属)	高柳俊光 (12時間・NHO佐賀病院第一診療部長 小児科医師) 松尾宗明 (4時間・佐賀大学医学部教授 小児科医師) 早瀬 恵 (6時間・総合福祉センター判定課長 心理判定員) 岩本脩平 (4時間・佐賀大学医学部大学院 歯科医師) 久野建夫 (4時間・佐賀駅南クリニック院長 小児科医師)		
<p><科目設定理由></p> <p>新生児及び乳幼児の生理と病態、成長発達を理解し、正常からの逸脱及びハイリスク児について学ぶ。</p> <p><科目目標></p> <p>新生児及び乳幼児の生理、異常と疾患、遺伝や新生児救急蘇生について理解し、正常新生児及びハイリスク児に対応する基礎知識を理解する。</p> <p><授業内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新生児の生理 (高柳俊光) 2. 新生児の異常と疾患 (高柳俊光) 3. 新生児救急蘇生 (高柳俊光) 4. 乳幼児の成長と発達 (松尾宗明) 5. 乳児健診と予防接種 (松尾宗明) 6. 乳幼児の発達とその障害 (早瀬恵) 7. 子ども虐待 (早瀬恵) 8. 発達相談 (早瀬恵) 9. 歯、口腔の発育・発達と母子の歯科保健 (岩本脩平) 10. 口唇口蓋裂の治療 (岩本脩平) 11. 遺伝学と遺伝疾患 (久野建夫) 12. 遺伝相談とカウンセリング (久野建夫) <p><講義の進め方></p> <p>スライド・資料・DVDを用いて学生がイメージできるように講義する。</p> <p><受講要件></p> <p>なし</p> <p><テキスト></p> <ol style="list-style-type: none"> ①我部山キヨ子編集：助産学講座2第5版、医学書院 ②我部山キヨ子編集：助産学講座3第5版、医学書院 ③我部山キヨ子編集：助産学講座8第5版、医学書院 ④仁志田博司著：新生児学入門第4版、医学書院 ⑤細野茂春 新生児蘇生法テキスト第3版、2015、メジカルビュー社 <p><参考文献></p> <p>講師作成資料など</p> <p><評価方法></p> <p>高柳俊光 客観式テスト 松尾宗明 客観式テスト 早瀬 恵 客観式テスト</p>			

2-(3)教育内容(シラバス)

分野(領域)	基礎助産学	科目名	母子の健康科学Ⅱ
単位(時間)	1単位 30時間	開講時期	前期～後期
講師名 (時間・所属)	江口博敏 (8時間・田中産婦人科院長 産婦人科医師) 緒方智宏 (6時間・西九州大学健康栄養学部講師 管理栄養士) 志岐寿子 (4時間・環境センター大気水質課長 薬剤師) 野口光代 (12時間・JCHO佐賀中部病院 産婦人科医師)		
<p><科目設定理由> 性と生殖のメカニズムと医療について学び、母子の健康への支援について考える。</p> <p><科目目標> 人間の性と生殖の機能や疾患について理解する。 母子の健康を維持・増進するために必要な環境因子を理解する。</p> <p><授業内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人間の性 (江口博敏) 2. 生殖の形態と機能 (江口博敏) 3. 生殖に関する疾患 (江口博敏) 4. 不妊症とその関連疾患 (野口光代) 5. 生殖補助医療 (野口光代) 6. 母子の栄養 (緒方智宏) <ol style="list-style-type: none"> 1) 栄養状態の評価法 2) 栄養所要量 3) 食生活習慣 4) 有害物質の摂取 5) 成人病(生活習慣病)胎児期発症起源説 7. 母子と生活環境 (志岐寿子) <ol style="list-style-type: none"> 1) 放射線・電磁波・粉塵 2) 環境汚染物質 8. 母子と免疫 (野口光代) <p><講義の進め方> スライド・資料・DVDを用いて学生がイメージできるように講義する。</p> <p><受講要件> なし</p> <p><テキスト></p> <ol style="list-style-type: none"> ①我部山キヨ子編集：助産学講座2第5版、医学書院 ②我部山キヨ子編集：助産学講座3第5版、医学書院 ③福岡秀興 妊産婦のための食生活バランスガイド、母子保健事業団 ④第3版プリンシプル産科婦人科学2産科編第3版、メジカルビュー社 <p><参考文献> 講師作成資料など</p> <p><評価方法></p> <p>江口博敏 客観式テスト 野口光代 客観式テスト 緒方智宏 客観式テスト</p>			

2-(3)教育内容(シラバス)

分野(領域)	基礎助産学	科目名	家族の心理・社会学
単位(時間)	1単位 30時間	開講時期	前期～後期
講師名 (時間・所属)	村久保雅孝 (12時間・佐賀大学医学部看護学科准教授 臨床心理士) 川邊浩史 (10時間・西九州大学短期大学部幼児保育学科 准教授) 石井博修 (4時間・佐賀県医療センター好生館 精神科医師) 山崎康枝 (4時間・学院教員 助産師)		
<p><科目設定理由></p> <p>歴史的な背景を踏まえ、現代社会の母親・父親・子育ての心理・社会的課題について学び、母性・父性を育む支援について考える。</p> <p><科目目標></p> <p>母性・父性及び家族の特徴や関係性を心理・社会的視点から理解する。 母性・父性の育みを支援する基礎知識を習得する。</p> <p><授業内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 女性と母性 (村久保雅孝) 2. 親になる選択 (村久保雅孝) 3. 夫婦・家族と支援 (村久保雅孝) 4. 母子関係 (村久保雅孝) 5. 母親と社会 (村久保雅孝) 6. 家族と社会 (川邊浩史) 7. 男性と父性 (川邊浩史) 8. 父子関係 (川邊浩史) 9. 父親と社会 (川邊浩史) 10. 子どもと社会 (川邊浩史) 11. マタニティサイクルのメンタルヘルス (石井博修) 12. 周産期のグリーンケア ペリネイタル・ロス (山崎康枝) <p><講義の進め方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキストの内容に沿って講義する。 ・VTRで事例を提示し、家族の在り方や問題について考えさせる。 ・事例を通して学生が母性・父性・家族を具体的に理解するよう教授する。 <p><受講要件></p> <p>なし</p> <p><テキスト></p> <p>①我部山キヨ子編集：助産学講座4第5版、医学書院</p> <p><参考文献></p> <p>①我部山キヨ子編集：臨床助産師必携、第2版、医学書院 ②講師作成資料など</p> <p><評価方法></p> <p>村久保雅孝 客観式テスト 川邊浩史 論文体試験</p>			

2-(3)教育内容(シラバス)

分野(領域)	基礎助産学	科目名	助産学研究の基礎
単位(時間)	1単位 15時間	開講時期	後期
講師名 (時間・所属)	服部佳代子(8時間・学院教員 助産師) 平尾・服部・山崎(7時間・学院教員 助産師)		
<p><科目設定理由> 助産師としての実践活動を通し、課題解決に向けた研究の基礎を学ぶ。</p> <p><科目目標> 助産学研究の必要性、目的や意義を理解し、研究の進め方がわかる。 事例検討を通してクリティークの方法を習得する。</p> <p><授業内容> 1. 助産学研究の目的と意義 (服部佳代子) 2. 助産学研究の進め方 (服部佳代子) 3. 助産学研究の課題 (服部佳代子) 4. 文献検索 (服部佳代子) 5. 事例検討(分娩期) (服部佳代子・山崎康枝・平尾幸恵)</p> <p><講義の進め方> ・助産に関する論文のクリティークをする。 ・分娩介助した事例について、学内で事例検討会を行う。</p> <p><受講要件> なし</p> <p><テキスト> ①我部山キヨ子編集：助産学講座1第5版、医学書院</p> <p><参考文献> 講師作成資料、日本母性衛生学会誌、助産が助産学会誌など</p> <p><評価方法> 服部佳代子 提出物による評価 服部・山崎・平尾 提出物による評価</p>			

2-(3)教育内容(シラバス)

分野(領域)	助産診断・技術学	科目名	周産期医療 I
単位(時間)	1単位 30時間	開講時期	前期
講師名 (時間・所属)	室 雅巳 (24時間・地独佐賀県医療センター好生館 産婦人科医師) 金井督之 (6時間・地独佐賀県医療センター好生館 産婦人科医師)		
<p><科目設定理由> 妊娠の生理と病態を学び、妊娠期からの予防、異常の早期発見の重要性について考える。</p> <p><科目目標> 妊娠期の生理と病態を理解し、異常の早期発見、予防の重要性を理解する。 胎児心拍モニタリング、超音波断層法による診断の基礎的知識及び技術を習得する。</p> <p><授業内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 妊娠の生理 (室 雅巳) 2. 胎児の成長と発達 (室 雅巳) 3. 妊娠期の異常とハイリスク妊娠 (室 雅巳) 4. 母子と薬剤 (室 雅巳) 5. 胎児心拍モニタリングとその評価 (室雅巳) 6. 超音波検査による総合的出産前胎児評価 (金井督之) <p><講義の進め方> テキストおよび講師作成の資料をもとに講義する。</p> <p><受講要件> なし</p> <p><テキスト></p> <ol style="list-style-type: none"> ①我部山キヨ子編集：助産学講座6第5版、医学書院 ②第3版プリンシプル産科婦人科学2産科編第3版、メジカルビュー社 ③藤森敬也著：改訂3版胎児心拍数モニタリング講座、メディカ出版 ④日本産科婦人科学会/日本産婦人科医会編集・監修：産婦人科診療ガイドライン産科編2017 ⑤平澤美恵子監修：写真でわかる助産技術、インターメディカ ⑥梁栄治著：助産師と研修医のための産科超音波検査、改訂第2版、診断と治療社 <p><参考文献> 講師作成資料など</p> <p><評価方法> 室 雅巳 客観式テスト 金井督之 客観式テスト</p>			

2-(3)教育内容(シラバス)

分野(領域)	助産診断・技術学	科目名	周産期医療Ⅱ
単位(時間)	1単位 15時間	開講時期	前期～後期
講師名 (時間・所属)	大隈香奈 (15時間・NHO佐賀病院 産婦人科医師)		
<p><科目設定理由> 分娩期及び産褥期の病態、産科救急時の医療など周産期医療の基礎を学ぶ。</p> <p><科目目標> 分娩期及び産褥期の病態を理解し、異常を予測できる。 救急時の処置として、会陰切開縫合、局所麻酔の方法を理解する。</p> <p><授業内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 分娩期及び産褥期の異常 2. 分娩期及び産褥期の偶発疾患 3. 産科麻酔・手術 4. 産科救急 5. 会陰切開縫合・局所麻酔 <p><講義の進め方> テキストおよび講師作成の資料に沿って講義する。</p> <p><受講要件> なし</p> <p><テキスト></p> <ol style="list-style-type: none"> ①我部山キヨ子編集：助産学講座7第5版、医学書院 ②第3版プリンシプル産科婦人科学2産科編第3版、メジカルビュー社 ③日本産科婦人科学会/日本産婦人科医会編集・監修：産婦人科診療ガイドライン産科編2017 ④藤森敬也著：改訂3版胎児心拍数モニタリング講座、メディカ出版 <p><参考文献> 講師作成資料など</p> <p><評価方法> 大隈香奈 客観式テスト</p>			

2-(3)教育内容(シラバス)

分野(領域)	助産診断・技術学	科目名	周産期のハイリスク支援								
単位(時間)	1単位 30時間	開講時期	前期～後期								
講師名 (時間・所属)	南里美貴 (6時間・佐賀大学医学部附属病院 助産師) 服部佳代子 (10時間・学院教員 助産師) 服部佳代子 (8時間・学院教員 助産師) 立石裕子 (6時間・NHO佐賀病院 NICU看護師)										
<p><科目設定理由></p> <p>妊娠・分娩・産褥・新生児期における正常からの逸脱や緊急事態の対応について学ぶ。</p> <p><科目目標></p> <p>正常からの逸脱を判断し、異常を予測する臨床判断能力を習得する。 また、急変時に対応できる基礎的技術を習得する。</p> <p><授業内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ハイリスク・異常妊婦のアセスメントと支援 (南里美貴) 2. ハイリスク・異常産婦のアセスメントと支援 (服部佳代子) 3. ハイリスク・異常褥婦のアセスメントと支援 (服部佳代子) 4. ハイリスク新生児ケアの基本 (立石裕子) 5. 低出生体重児のケア (立石裕子) 6. 両親の心理的危機への支援 (立石裕子) <p><講義の進め方></p> <p>テキストに沿って講義をする。 *NICU/GCU実習前に必ず授業内容及び試験内容を復習して臨む。</p> <p><受講要件></p> <p>なし</p> <p><テキスト></p> <ol style="list-style-type: none"> ①我部山キヨ子編集：助産学講座 6 第 5 版、医学書院 ②我部山キヨ子編集：助産学講座 7 第 5 版、医学書院 ③第 3 版プリンシプル産科婦人科学 2 産科編第 3 版、メジカルビュー社 ④日本産科婦人科学会/日本産婦人科医会編集・監修：産婦人科診療ガイドライン産科編2017 ⑤藤森敬也著：改訂 3 版胎児心拍数モニタリング講座、メディカ出版 <p><参考文献></p> <p>講師作成資料など</p> <p><評価方法></p> <table> <tr> <td>南里美貴</td> <td>客観式テスト</td> </tr> <tr> <td>服部佳代子</td> <td>客観式テスト</td> </tr> <tr> <td>服部佳代子</td> <td>客観式テスト</td> </tr> <tr> <td>立石裕子</td> <td>客観式テスト</td> </tr> </table>				南里美貴	客観式テスト	服部佳代子	客観式テスト	服部佳代子	客観式テスト	立石裕子	客観式テスト
南里美貴	客観式テスト										
服部佳代子	客観式テスト										
服部佳代子	客観式テスト										
立石裕子	客観式テスト										

2-(3)教育内容(シラバス)

分野(領域)	助産診断・技術学	科目名	妊娠期の助産診断・技術学
単位(時間)	1単位 30時間	開講時期	前期
講師名 (時間・所属)	山崎康枝 (30時間・学院教員 助産師)		
<p><科目設定理由></p> <p>妊娠・分娩・産褥期を健康に経過するため、妊婦の健康状態に関するアセスメント及びそれに基づき支援する能力を高める。</p> <p><科目目標></p> <p>ローリスク妊婦の身体的・心理社会的状態及び胎児の正常な成長・発達を理解し、助産過程が展開できる。 また、正常からの逸脱予防のための健康教育ができる。</p> <p><授業内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 妊娠期のフィジカルアセスメント 2. 妊娠期の診断過程とケア 3. 妊娠期の心理社会的変化 4. 妊娠期の健康教育 <p><講義の進め方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキスト及び資料をもとに講義する。 ・妊婦腹部触診モデル、乳房モデルを用いて学生がイメージしやすいように講義する。 ・妊婦健診を妊婦体験服等を用いて学生間でロールプレイする。 <p><受講要件></p> <p>なし</p> <p><テキスト></p> <ol style="list-style-type: none"> ①第3版プリンシプル産科婦人科学2産科編第3版、メジカルビュー社 ②我部山キヨ子編集:助産学講座6第5版、医学書院 ③日本産科婦人科学会/日本産婦人科医会編集・監修:産婦人科診療ガイドライン産科編2017 <p><参考文献></p> <ol style="list-style-type: none"> ①平山宗宏:母子保健テキスト、母子保健事業団 ②母子健康手帳及び副読本 ③講師作成資料など <p><評価方法></p> <p>山崎康枝 客観式テスト</p>			

2-(3)教育内容(シラバス)

分野(領域)	助産診断・技術学	科目名	分娩期の助産診断・技術学
単位(時間)	1単位 30時間	開講時期	前期
講師名 (時間・所属)	服部佳代子 (30時間・学院教員 助産師)		
<p><科目設定理由></p> <p>産婦の健康状態に関するアセスメントに基づき、産婦の主体性を尊重した出産を支援する能力を養う。</p> <p><科目目標></p> <p>ローリスク産婦の身体的・心理社会的特徴を踏まえた分娩期の助産過程が展開できる。 また、異常時や緊急時の対応について理解する。</p> <p><授業内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 分娩期及び産褥期の生理 2. 分娩期のフィジカルアセスメント 3. 分娩期の助産診断とケア 4. 分娩期の心理社会的変化 5. 分娩期の異常・緊急時の対応 <p><講義の進め方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料及びテキストに沿って講義する。 ・透明骨盤や模型を使って立体的に理解しやすいように講義する。 ・骨盤及び胎児人形を用いて分娩機転のシミュレーションを行う。 <p><受講要件></p> <p>なし</p> <p><テキスト></p> <ol style="list-style-type: none"> ①我部山キヨ子編集：助産学講座3第5版、医学書院 ②我部山キヨ子編集：助産学講座7第5版、医学書院 ③藤森敬也著：改訂3版胎児心拍数モニタリング講座、メディカ出版 ④平澤美恵子監修：写真でわかる助産技術、インターメディカ ⑤榎引美代子著：カラー写真で学ぶ周産期の看護技術第2版、医歯薬出版 ⑥第3版プリンシプル産科婦人科学2産科編第3版、メジカルビュー社 ⑦日本産科婦人科学会/日本産婦人科医会編集・監修：産婦人科診療ガイドライン産科編2017 <p><参考文献></p> <p>講師作成資料など</p> <p><評価方法></p> <p>服部佳代子 客観式テスト</p>			

2-(3)教育内容(シラバス)

分野(領域)	助産診断・技術学	科目名	産褥・新生児期の助産診断・技術学
単位(時間)	1単位 30時間	開講時期	前期
講師名 (時間・所属)	服部佳代子 (20時間・学院教員 助産師) 森本眞寿代 (10時間・西九州大学看護学科 講師 助産師)		
<p><科目設定理由></p> <p>褥婦のみならず新生児を含めた助産の重要性について学ぶ。 また、母乳育児の保護・推進・支援について学ぶ。</p> <p><科目目標></p> <p>ローリスク褥婦の身体的・心理社会的状態及び新生児の正常な成長・発達を理解し、助産過程が展開できる。 母乳育児支援について理解し、支援方法を習得する。</p> <p><授業内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 産褥・新生児期のフィジカルアセスメント 2. 褥婦・新生児の助産過程とケア 3. 褥婦の心理社会的変化 4. 新生児の生理と発達 5. 育児行動取得への援助 6. 母乳育児支援 <ol style="list-style-type: none"> 1) 母乳分泌促進法・抑制法 2) 児の哺乳行動・哺乳サイン・吸着・吸啜 3) 授乳技術とセルフケア 4) 乳房トラブルの予防と対処法 5) 母乳育児のための社会資源 6) 母乳代用品の安全性 <p><講義の進め方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキスト及び資料を用いて経日的変化を理解する。 ・乳房モデルや新生児モデルを用いて学生がイメージしやすいように講義する。 ・産褥の経過を学生間でロールプレイする。 <p><受講要件></p> <p>なし</p> <p><テキスト></p> <ol style="list-style-type: none"> ①我部山キヨ子編集:助産学講座7第5版、医学書院 ②横尾京子編集:助産学講座8第5版、医学書院 ③第3版プリンシプル産科婦人科学2産科編、メジカルビュー社 ④NPO法人日本ラクテーション・コンサルタント協会編集:母乳育児支援スタンダード第2版、医学書院 ⑤榎引美代子著 カラー写真で学ぶ新生児の観察と看護技術、医歯薬出版 ⑥日本産科婦人科学会/日本産婦人科医会編集・監修:産婦人科診療ガイドライン産科編2017 <p><参考文献></p> <p>講師作成資料など</p> <p><評価方法></p> <p>服部佳代子 客観式テスト 森本眞寿代 客観式テスト</p>			

2-(3)教育内容(シラバス)

分野(領域)	助産診断・技術学	科目名	母子の補完代替医療
単位(時間)	1単位 15時間	開講時期	前期～後期
講師名 (時間・所属)	川崎あゆみ (4時間・アロマスクールアバンダンシア 助産師) 井田裕子 (5時間・出張助産所ママと赤ちゃんの家からこ 助産師) 芦刈美和 (6時間・どーなつ助産院院長 助産師)		
<p><科目設定理由> 母子の自然治癒力を高め、健康状態を良好に保つさまざまな方法を学ぶ。</p> <p><科目目標> 母子に提供できる安全で安楽な補完代替医療について正しく理解する。 母子に提案できる知識と技術を習得する。</p> <p><授業内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アロマセラピーの基礎知識 (川崎あゆみ) 2. 産科領域でのアロマセラピー (川崎あゆみ) 3. タッチケア (井田裕子) 4. 温熱療法 (井田裕子) 5. 妊産褥婦の骨盤ケア (芦刈美和) 6. 新生児の骨盤ケア (芦刈美和) <p><講義の進め方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アロマに関する基本的知識を習得したうえで、学生間でマッサージを体験する。 ・妊娠期のマイナートラブルや育児不安を取り除くタッチケアの実際を学ぶ。 ・妊産褥婦及び新生児の骨盤ケアの方法について学ぶ。 <p><受講要件> なし</p> <p><テキスト></p> <ol style="list-style-type: none"> ①我部山キヨ子編集：助産学講座 3 第 5 版、医学書院 ②我部山キヨ子編集：助産学講座 6 第 5 版、医学書院 ③我部山キヨ子編集：助産学講座 7 第 5 版、医学書院 ④第 3 版プリンシプル産科婦人科学 2、産科編、メジカルビュー社 ⑤仁志田博司著：新生児学入門第 4 版、医学書院 ⑥藤森敬也著：改訂 2 版胎児心拍数モニタリング講座、メディカ出版 <p><参考文献> 講師作成資料など</p> <p><評価方法> 井田裕子 客観式テスト 1 回</p>			

2-(3)教育内容(シラバス)

分野(領域)	助産診断・技術学	科目名	分娩介助学
単位(時間)	1単位 30時間	開講時期	前期～後期
講師名 (時間・所属)	服部佳代子(12時間・学院教員 助産師) 服部・平尾・山崎(16時間:学院教員 助産師) 井田裕子(2時間・出張助産所ママと赤ちゃんの家からこ 助産師)		
<p><科目設定理由></p> <p>産婦と児が有する身体機能を最大限に活用し、最小限の侵襲で安全に分娩を介助する技術を学ぶ。</p> <p><科目目標></p> <p>分娩介助の意義・原理を理解し、基本的な分娩介助ができる。 母児ともに安全かつ安楽な分娩となるように、産婦への関りや環境調整ができる。 フリースタイル分娩や自宅分娩法を習得する。</p> <p><授業内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 分娩介助の意義・原理 (服部佳代子) 2. 正常分娩介助法の原理 (服部佳代子) 3. 分娩介助の技術 (服部佳代子) 4. 胎児付属物の検査と計測 (服部佳代子) 5. 出生直後の新生児のケア (服部佳代子) 6. フリースタイル分娩・自宅分娩 (井田裕子) 7. 分娩介助技術 (服部佳代子・山崎康枝・平尾幸恵) <p><講義の進め方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・分娩介助モデルを用いて分娩介助の基本的な技術を習得する。 ・人工破膜の手技は模型を用いてデモンストレーションする。 ・胎児付属物の検査と計測及び出生直後の新生児のケアは模型を用いてデモンストレーションする。 ・分娩開始から歩行開始まで連続してシミュレーションを行う。 ・分娩の進行(初産婦・経産婦)に合わせた分娩介助の方法について学ぶ。 ・DVDを用いて実習施設ごとの分娩介助技術を習得する。 <p><受講要件></p> <p>なし</p> <p><テキスト></p> <ol style="list-style-type: none"> ①我部山キヨ子編集:助産学講座7第5版、医学書院 ②横尾京子編集:助産学講座8第5版、医学書院 ③平澤美恵子監修:写真でわかる助産技術、インターメディカ ④榎引美代子著:カラー写真で学ぶ周産期の看護技術第2版、医歯薬出版 ⑤第3版プリンシプル産科婦人科学2産科編、メジカルビュー社 ⑥日本産科婦人科学会/日本産婦人科医会編集・監修:産婦人科診療ガイドライン産科編2017 <p><参考文献></p> <p>講師作成資料など</p> <p><評価方法></p> <p>服部佳代子 客観式テスト1回 分娩介助技術評価(前期1回、後期1回) *分娩介助技術評価(前期)を合格すれば、基礎I実習を受けることができる。</p>			

3-(2)教育内容(シラバス)

分野(領域)	基礎助産学	科目名	ウイメンズヘルスケア
単位(時間)	1単位 15時間	開講時期	前期～後期
講師名 (時間・所属)	大隈良成 (8時間・大隈レディースクリニック 産婦人科医師) 原 健一 (7時間・元佐賀県DV総合対策センター所長)		
<p><科目設定理由> 女性の生涯にわたる性と生殖に関連した支援について学ぶ。</p> <p><科目目標> 女性のライフサイクル各期の身体的、心理社会的特徴や変化を理解し、助産師の役割を考える。 女性の性と生殖に関連した自己決定や権利について学ぶ。</p> <p><授業内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ライフサイクルに応じた援助 (大隈良成) 思春期・更年期・老年期 2. 受胎調節法 (大隈良成) 3. リプロダクティブヘルス/ライツ (大隈良成) 4. 性の多様性 (大隈良成) 5. 女性と人権 (原 健一) 6. DVと助産師 (原 健一) <p><講義の進め方> テキストに沿って講義をする。</p> <p><受講要件> なし</p> <p><テキスト></p> <ol style="list-style-type: none"> ①我部山キヨ子編集：助産学講座1第5版、医学書院 ②我部山キヨ子編集：助産学講座4第5版、医学書院 <p><参考文献> 講師作成資料など</p> <p><評価方法> 大隈良成 客観式テスト 原 健一 客観的テスト</p>			

3-(2)教育内容(シラバス)

分野(領域)	助産診断・技術学	科目名	プレコンセプションケア
単位(時間)	1単位 30時間	開講時期	前期～後期
講師名 (時間・所属)	山崎康枝 (12時間・学院教員・助産師) 山崎・服部・平尾 (18時間・学院教員・助産師)		
<p><科目設定理由> 女性やパートナーに将来の妊娠のための健康教育ができる。</p> <p><科目目標> 将来妊娠を考える女性やパートナーに性と生殖の自己決定を支援できる。 妊娠を考えたときにすぐに実現できるよう支援する技術を習得する。</p> <p><授業内容> 1. プレコンセプションケアの意義 2. 女性の健康アプローチ (山崎康枝・平尾幸恵・服部佳代子) 3. ピア講義 (山崎康枝)</p> <p><講義の進め方> ・健康教育に必要な指導案及び媒体を作成し、実施・評価する。 ①指導案作成 ②健康生活指導 ③ピア講義 (好生館看護学院 看護学科1年生)</p> <p><受講要件> なし</p> <p><テキスト> ①我部山キヨ子編集：助産学講座2第5版、医学書院 ②我部山キヨ子編集：助産学講座3第5版、医学書院 ③堀内茂子編集：助産学講座5第5版、医学書院 ④財団法人母子衛生研究会編集：母子保健テキスト、母子保健事業団 ⑤日本家族計画協会編集：受胎調節指導用テキスト、日本家族計画協会</p> <p><参考文献> ①母子健康手帳及び副読本 ②講師作成資料など</p> <p><評価方法> 各健康教育発表の総合評価 (指導案・媒体・方法・参加態度など) 3回</p>			

2-(3)教育内容(シラバス)

分野(領域)	助産診断・技術学	科目名	健康教育
単位(時間)	1単位 30時間	開講時期	前期
講師名 (時間・所属)	北島茂樹(10時間・福岡女学院大学大学院 非常勤講師) 龍悦子(5時間・ストレッチ教室 健康管理士一般指導員) 山崎康枝(2時間・学院教員・助産師) 山崎・服部・平尾(13時間・学院教員・助産師)		
<p><科目設定理由></p> <p>思春期から老年期までの女性の健康の維持・増進につながる健康教育について学ぶ。 女性のセルフケア能力を促進し、行動変容につながる健康教育について学ぶ。</p> <p><科目目標></p> <p>相談や教育活動の基礎知識を習得するとともに、ライフサイクル各期に応じた個別性のある指導案及び媒体を作成し、行動変容を促す健康教育ができる。</p> <p><授業内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 相談・教育活動の教育理論 (北島茂樹) 2. 女性の身体づくり・健康理論 (龍悦子) 3. 指導案作成の基礎 (山崎康枝) 4. マタニティサイクルの健康教育 (山崎・服部・平尾) 5. 更年期・老年期女性への援助 (山崎・服部・平尾) <p><講義の進め方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スライドや資料にそって健康教育に必要な基礎理論を講義する。 ・健康教育に必要な指導案及び媒体作成し、実施・評価する。 ・実際に運動をしながら女性の体づくりを体験する。 <p><受講要件></p> <p>なし</p> <p><テキスト></p> <ol style="list-style-type: none"> ①我部山キヨ子編集：助産学講座2第5版、医学書院 ②我部山キヨ子編集：助産学講座3第5版、医学書院 ③堀内茂子編集：助産学講座5第5版、医学書院 ④財団法人母子衛生研究会編集：母子保健テキスト、母子保健事業団 ⑤日本家族計画協会編集：受胎調節指導用テキスト、日本家族計画協会 <p><参考文献></p> <p>講師作成資料など</p> <p><評価方法></p> <p>北島茂樹 客観式テスト</p> <p>提出物で評価</p>			

2-(3)教育内容(シラバス)

分野(領域)	地域母子保健	科目名	地域母子保健
単位(時間)	2単位 30時間	開講時期	前期～後期
講師名 (時間・所属)	山崎康枝 (6時間・学院教員 助産師) 松本温子 (2時間・佐賀県こども家庭課 保健師) 田中雅子 (2時間・佐賀市健康づくり課 保健師) 溝上千鶴 (3時間・佐賀県助産師会理事 助産師) 中村由美子 (2時間・さが多胎ネット代表) 田代勝良 (15時間・佐賀県社会福祉士会 相談役 社会福祉士)		
<p><科目設定理由> 住民の多様なニーズに対応した地域母子保健サービスについて学ぶ。</p> <p><科目目標> 地域母子保健行政及び社会保障制度を理解する。 また、保健・医療・福祉関係者と連携・協働しながら、産後4か月程度までの子育て支援の基礎知識を習得する。</p> <p><授業内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 母子保健の意義 (山崎康枝) 2. 母子保健の現状と動向 (山崎康枝) 3. 国際母子保健 (山崎康枝) 4. 母子保健法 (松本温子) 5. 地域母子保健行政 (松本温子) 6. 地域における育児支援 (田中雅子) 7. 母子訪問の実際 (溝上千鶴) 8. 多胎の育児支援 (中村由美子) 9. 次世代育成支援 (田代勝良) 10. 児童家庭福祉 (田代勝良) 11. 障害者福祉 (田代勝良) 12. 公的扶助 (田代勝良) 13. 母性保護措置 (田代勝良) 14. 家族と法 (国際含む) (田代勝良) <p><講義の進め方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキストに沿って日本の母子保健の現状について講義する。 ・佐賀市の母子保健事業について説明し地域における育児支援について理解させる。 ・母子訪問は乳房モデルや新生児モデルを使って学生間でロールプレイする。 <p><受講要件> なし</p> <p><テキスト></p> <ol style="list-style-type: none"> ①我部山キヨ子編集：助産学講座1第5版、医学書院 ②我部山キヨ子編集：助産学講座9第5版、医学書院 ③国民衛生の動向2019/2020一般社団法人厚生労働統計協会(一部) ④わが国の母子保健2020年、母子衛生研究会 ⑤看護六法 2020年版：新日本法規 <p><参考文献> 講師作成資料など</p> <p><評価方法> 山崎康枝 客観式テスト 田代勝良 客観式テスト</p>			

2-(3)教育内容(シラバス)

分野(領域)	助産管理	科目名	助産管理
単位(時間)	2単位 30時間	開講時期	前期～後期
講師名 (時間・所属)	平尾幸恵 (10時間・学院教員 助産師) 平尾・服部・山崎 (16時間・学院教員 助産師) 松下キヨ子 (4時間・きやま助産所所長 助産師)		
<p><科目設定理由> 助産業務管理に必要な基礎知識を理解し、母子を支援する体制を学ぶ。</p> <p><科目目標> 病院、診療所、助産所の場に応じた助産管理の特徴を理解する。 また、医療事故や災害時等におけるリスクマネジメントや助産師の役割について理解する。</p> <p><授業内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 助産管理の基本 (平尾幸恵) 2. 関連法規と助産師の義務・責任 (平尾幸恵) 3. 周産期医療システムとリスクマネジメント (平尾幸恵) 4. 病産院における助産業務管理 (平尾幸恵) 5. 医療事故と助産師 (平尾幸恵) 6. 災害時の母子支援 (平尾幸恵・服部佳代子・山崎康枝) 7. 周産期のリスクマネジメントの実際 (平尾幸恵・山崎康枝) 8. 産科棟の管理の実際 (平尾幸恵・服部佳代子) 9. 助産所における助産業務管理の実際 (松下キヨ子) <p><講義の進め方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキストに沿って助産管理を理解させる。 ・インシデント・アクシデント事例についてグループワークする。 ・スライドを使って医療事故についての理解を深めさせる。 <p><受講要件> なし</p> <p><テキスト></p> <ol style="list-style-type: none"> ①武谷雄二編集：助産学講座10第5版、医学書院 ②看護六法 2020年版：新日本法規 ③日本助産師会編集：助産業務ガイドライン2014、日本助産師会 <p><参考文献> 講師作成資料など</p> <p><評価方法></p> <p>平尾幸恵 客観式テスト(1回) 松下キヨ子 客観式テスト 演習後の論文体試験 (4回)</p>			

2-(3)教育内容(シラバス)

分野(領域)	助産学実習	科目名	基礎 I 実習
単位(時間)	2単位 90時間	開講時期	前期
講師名 (時間・所属)	平尾幸恵・服部佳代子・山崎康枝 (90時間・学院教員 助産師) 坂口尚子・岡部千穂・世戸美由紀 (実習指導教員 助産師)		
<p><科目設定理由></p> <p>妊婦・褥婦・新生児に対する観察の視点を学ぶ。実習施設の概要を知り、安心して実習に臨む。</p> <p><科目目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 妊産褥婦及びその家族とコミュニケーションをとることができる。 2. 妊産褥婦及び新生児の観察方法・観察の視点がわかる。 3. 分娩見学を行い、アセスメントとケアについて考える。 <p><授業内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 妊娠期の診断とケア 2. 産褥期の診断とケア 3. 新生児期の診断とケア 4. 分娩期の診断とケア (産婦ケア見学) 5. 帝王切開 <p><実習の進め方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習中は臨床実習指導者及び教員、実習指導教員の指導を受ける。 ・実習要綱に沿って実習する。 <p><受講要件></p> <ul style="list-style-type: none"> ・分娩介助学の分娩介助の技術評価 (1回目) を受けて合格していること。 <p><テキスト><参考文献></p> <p>購入した図書すべて</p> <p><評価方法></p> <p>実習評価表・論文体試験等実習要綱参照</p>			

2-(3)教育内容(シラバス)

分野(領域)	助産学実習	科目名	基礎Ⅱ実習
単位(時間)	2単位 90時間	開講時期	前期
講師名 (時間・所属)	平尾幸恵・服部佳代子・山崎康枝 (90時間・学院教員 助産師) 坂口尚子・岡部千穂・世戸美由紀 (実習指導教員 助産師)		
<p><科目設定理由></p> <p>妊娠・分娩・産褥・新生児の経過を理解し、診断過程を学ぶ。</p> <p><科目目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 妊産褥婦及び新生児の計測を正しく実施できる。 2. 妊産褥婦及び新生児の診断に必要な情報を収集できる。 3. 超音波画像及び胎児心拍数モニタリング波形がわかる。 4. 実習指導者の指導の下に、分娩介助ができる。 <p><授業内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 妊娠期の診断とケア 2. 分娩期の診断とケア (分娩介助1・2回目) 3. 分娩期の診断とケア (誘導分娩時) 4. 産褥・新生児期の診断とケア 5. 帝王切開 6. 母親学級見学 <p><実習の進め方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習中は臨床実習指導者及び教員、実習指導教員の指導を受ける。 ・実習要綱に沿って実習する。 <p><受講要件></p> <p>基礎Ⅰ実習を終了し合格していること。</p> <p><テキスト><参考文献></p> <p>購入した図書すべて</p> <p><評価方法></p> <p>実習評価表、論文体試験他、実習要綱参照</p>			

2-(3)教育内容(シラバス)

分野(領域)	助産学実習	科目名	前期実習
単位(時間)	3単位 135時間	開講時期	前期
講師名 (時間・所属)	平尾幸恵・服部佳代子・山崎康枝 (90時間・学院教員 助産師) 坂口尚子・岡部千穂・世戸美由紀 (実習指導教員 助産師)		
<p><科目設定理由> 妊産褥婦及び新生児を受け持ち、自らの診断に基づいた助産過程を展開する。</p> <p><科目目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 超音波画像及び胎児心拍数モニタリング波形の所見から胎児の状態を診断できる。 2. 妊娠経過から分娩・産褥の経過を予測し、指導ができる。 3. 受け持ち事例の診断及び指導ができる。 4. 実習指導者の指導を受け、分娩介助ができる。 5. 分娩の進行に伴う産婦及び家族のケアができる。 <p><授業内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 妊娠期の診断とケア 2. 分娩期の診断とケア (分娩介助3～6回目) 3. 分娩期の診断とケア (誘導分娩時) 4. 分娩間接介助 5. 帝王切開 6. 産褥・新生児期の診断とケア 7. NICU実習 <p><実習の進め方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習中は臨床実習指導者及び教員、実習指導教員の指導を受ける。 ・実習要綱に沿って実習する。 <p><受講要件></p> <p>基礎Ⅰ実習及び基礎Ⅱ実習を終了し、合格していること。</p> <p><テキスト><参考文献></p> <p>購入した図書すべて</p> <p><評価方法></p> <p>実習評価表、論文体試験他、実習要綱参照 ＊分娩介助評価、助産記録評価については、分娩介助回数が7回に達した時点で評価する。 ＊実習期間内に分娩介助回数が不足している者は、実習期間終了後に分娩待機実習を行う。</p> <p><分娩待機実習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学則細則第6条を満たし、分娩介助回数が7回に満たない場合に行う。 ・実習施設からの呼び出しを受けて実習を開始する。 ・実習内容は分娩第1期から分娩終了後2時間までの観察及びケアとする。 			

3-(2) 教育内容(シラバス)

分野(領域)	助産学実習	科目名	後期実習
単位(時間)	3単位135時間	開講時期	後期
講師名 (時間・所属)	平尾幸恵・服部佳代子・山崎康枝 (90時間・学院教員 助産師) 坂口尚子・岡部千穂・世戸美由紀 (実習指導教員 助産師)		
<p><科目設定理由></p> <p>一人ひとりの対象に応じた助産過程を展開し、対象が満足する助産ケアを提供できる。</p> <p><科目目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受け持ち事例の個別性に応じた経過診断・健康生活診断及び指導ができる。 2. 対象にとって満足のいく助産ケアが提供できる。 3. 実習指導者の指導を受け安全かつ対象の主体性を尊重した分娩介助が実施できる。 4. 対象に必要な退院支援ができる。 <p><授業内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 妊娠・分娩・産褥・新生児期の診断とケア (継続事例) 2. 分娩期の診断とケア (分娩介助7回目以降) 3. 分娩期の診断とケア (誘導分娩時) 4. 産褥・新生児期の診断とケア <p><実習の進め方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習中は臨床実習指導者及び教員の指導を受ける。 ・実習要綱に沿って実習する。 <p><受講要件></p> <ul style="list-style-type: none"> ・分娩介助学Ⅱの分娩介助の技術評価(2回目)を受け、合格していること。 ・基礎Ⅰ・Ⅱ及び前期実習を終了し、合格していること。 <p><評価方法></p> <p>実習評価表、論文体試験他、実習要綱参照</p> <ul style="list-style-type: none"> *分娩介助評価、助産記録評価については、分娩介助回数が10回に達した時点で評価する。 *実習期間内に分娩介助回数が不足している者は、実習期間終了後に分娩待機実習を行う。 *実習期間終了後に分娩待機実習をしたにもかかわらず、卒業認定会議までに分娩介助回数が10回に達しない場合は、これまでの実習評価結果と、さらに分娩待機実習を実施し、10回を目指すことを条件に暫定的に卒業認定を受けることができる。 <p><分娩待機実習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学則細則第6条を満たし、分娩介助回数が10回に満たない場合に行う。 ・実習施設からの呼び出しを受けて実習を開始する。 ・実習内容は分娩第1期から分娩終了後2時間までの観察及びケアとする。 			

2-(3) 教育内容(シラバス)

分野(領域)	助産学実習	科目名	地域母子保健実習
単位(時間)	1単位45時間	開講時期	後期
講師名 (時間・所属)	平尾幸恵・服部佳代子・山崎康枝 (90時間・学院教員 助産師) 坂口尚子・岡部千穂・世戸美由紀 (実習指導教員 助産師)		
<p><科目設定理由> 地域における包括的な母子保健サービスの実際について学ぶ。</p> <p><科目目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 助産所開設・管理運営の実際を学び、開業助産師の活動を理解する。 2. 保健所や市町村における母子保健の実際について理解する。 <p><授業内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 助産所における業務の実際 2. 地域母子における連携 3. 乳幼児相談・家庭訪問 4. 地域における子育て支援 <p><実習の進め方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習中は臨床実習指導者及び教員の指導を受ける。 ・実習要綱に沿って実習する。 <p><受講要件></p> <p><評価方法></p> <p>論文体試験</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習内容毎の実習日課表 (教員評価) 2. すべての実習内容終了後のレポート (教員評価) 			

分野(領域)	特別講義教養	科目名	特別講義
単位(時間)	15時間	開講時期	前期～後期
講師名 (時間・所属)	田中秀文 (6時間・佐賀女子短期大学 非常勤講師) 松尾尚子 (2時間・アート・ミュージック音楽教室 ピアノ講師) 寺田恵子 (4時間・めぐみ助産院院長 助産師) 寺野幸子 (3時間・NPO法人 poco a bocco 代表)		
<p><科目設定理由> 助産師として対象の多様な価値観を理解し受け入れるためには、広い視野が必要である。</p> <p><科目目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 助産に携わる専門職業人としての豊かな教養を身につける。 2. 社会の変化に関心を持ち、助産師の役割を考える機会とする <p><授業内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. マタニティサイクルの英会話 (田中秀文) 2. 音楽 (松尾尚子) 3. 助産師独自のケア (寺田恵子) 4. 助産師に期待するもの (寺野幸子) <p><講義の進め方> 講師作成の資料を基に講義を進める。</p> <p><テキスト> なし</p> <p><参考文献> 講師作成資料、英和辞典</p> <p><評価方法> なし (単位換算なし)</p>			